

## 大倉集古館 寄贈品展

大倉集古館（虎ノ門） 2024. 09. 14～10. 20



本展は、近年「大倉集古館」に寄贈された作品を中心にした展覧会で、「館創設者「大倉喜八郎」や嗣子「喜七郎」ゆかりの作品を含み、大蔵家が支援を行い正倉院御物整理掛けとして正倉院の修理を手かけた木彫り工芸家「木内半古」や「省古」親子の作品が展示されている。

さらに、長らくご寄贈をいただいていた「大倉喜七郎」ゆかりの近代絵画や古備前威再現を目指した陶芸家「森陶岳」の深みある『備前焼』などの作品など「約 80 点」も展示されている。



主な展示作品は、近代日本画家「荒木十畝」《晩秋》1929年 チラシ図  
「菊池契月」《菊》1929年（1） 「伊東深水」《小雨》1929年（2）  
「木内半古」《竹花入り》19～20世紀 《奈良絵本 竹取物語》17世紀  
「木内省古」《花喰鳥文木画帯留》19～20世紀（7）